

平成17年実施

「北上市男女共同参画社会に関するアンケート」

目 次

- 目 次 1頁
- 調査の概要 2頁
- 調査結果 3頁～22頁
 - 1 結果の見方、2 回答数、3 回答者自身について 3頁～4頁
 - 4 家庭生活について 5頁～9頁
 - 5 職業について 10頁～12頁
 - 6 社会参加について 13頁～15頁
 - 7 女性の人権について 16頁～17頁
 - 8 男女平等について 18頁～21頁
 - 9 男女共同参画社会について 22頁
- 自由意見 23頁～27頁
 - 社会参画と家庭 23頁
 - 男女平等について 24頁
 - 男女共同参画全般 25頁
 - 労働環境 26頁
 - 家事・育児・介護 27頁

北上市男女共同参画社会に関するアンケート

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、きたかみ男女共同参画プランの中間年を迎え、市民の男女平等や男女の役割分担に関する意識と生活実態等がどのように変化したかを把握し、今後の施策推進の参考とするため実施するものです。

2 調査主体

北上市

3 調査の設計

- (1) 調査対象: 市内に居住する18歳以上70歳未満の男女
- (2) 標本数: 1,600人(女性800人 男性800人)
- (3) 抽出方法: 年代別に無作為抽出
- (4) 調査方法: 郵送による配付及び回収(無記名)
- (5) 調査期間: 平成17年9月15日から10月5日

4 調査の内容

- (1) 回答者自身について
 - 1.性別 2.年代 3.職業 4.既婚、未婚 5.共働きか否か
 - 6.子どもの有無 7.家族構成 8.介護を必要とする家族の有無
- (2) 家庭生活について
- (3) 職業について
- (4) 社会参加について
- (5) 女性の人権について
- (6) 男女平等について
- (7) 男女共同参画社会に向けて

調査結果

1 結果の見方

- (1) 調査結果の数値は集計対象数 (N と表示) に対する百分比 (%) であり、小数点以下第 2 位を四捨五入して小数点以下第 1 位を表示。したがって、その合計は 100% にならないことがある。
- (2) 複数回答ができる質問の場合、示す比率は回答数の集計対象者数に対する百分比であり、その合計は 100% を超えている。
- (3) 回答者が限定された質問においては、その対象者数を N と表示している。
- (4) 調査結果の数値は、総数に性別不明を含んでいるが、男女別の数値やグラフ・表には性別不明は除いてある。

2 回答数

総 数	601人 (回収率37.6%)
女 性	359人 (59.7%)
男 性	240人 (39.9%)
性別不明	2人 (0.3%)

3 回答者自身について

- (1) 年代 (総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

10代	23 (3.8%) 【女12 (3.3%) 男11 (4.6%)】
20代	99 (16.5%) 【女69 (19.2%) 男30 (12.5%)】
30代	142 (23.6%) 【女92 (25.6%) 男50 (20.8%)】
40代	103 (17.1%) 【女58 (16.2%) 男45 (18.8%)】
50代	120 (20.0%) 【女69 (19.2%) 男50 (20.8%)】
60代	112 (18.6%) 【女58 (16.2%) 男53 (22.1%)】
無回答	2 (0.3%) 【女 1 (0.3%) 男 1 (0.4%)】

- (2) 職業 (総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

事業主 (従業員・社員のいる方)	10 (1.7%) 【女1 (0.3%) 男 9 (3.8%)】
勤め人 (正規)	244 (40.6%) 【女101 (28.1%) 男142 (59.6%)】
勤め人 (臨時・パート・アルバイト・内職等)	94 (15.6%) 【女71 (19.8%) 男22 (9.2%)】
自営業 (農林業・商工サービス業・自由業・家族従業等)	54 (9.0%) 【女31 (8.6%) 男23 (9.6%)】

その他（主婦 夫・学生・無職等上記に属さない）

199 (33.1%) 【女155 (43.2%) 男43 (17.9%)】

(3) 配偶関係（総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人）

未婚 123 (20.5%) 【女70 (19.5%) 男53 (22.1%)】

既婚(配偶者有) 435(72.4%) 【女258(71.9%) 男175(72.9%)】

既婚（配偶者無） 38 (6.3%) 【女28 (7.8%) 男10 (4.2%)】

無回答 5 (0.8%) 【女3 (0.8%) 男2 (0.8%)】

(5) 共働きの有無（既婚者のみ）(総数 = 435人、女性 = 258人、男性 = 175人)

共働き 218 (50.1%) 【女126 (48.8%) 男91 (52.0%)】

共働きでない 204 (46.9%) 【女123 (47.7%) 男80 (45.7%)】

無回答 13 (3.0%) 【女9 (3.5%) 男4 (2.3%)】

(4) 子どもの有無（別居している子供も含む）

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1人 85 (14.1%) 【女52 (14.5%) 男32 (13.3%)】

2人 251 (41.8%) 【女150 (41.8%) 男100 (41.7%)】

3人 85 (14.1%) 【女50 (13.9%) 男35 (14.6%)】

4人 11 (1.8%) 【女7 (1.9%) 男4 (1.7%)】

5人 3 (0.5%) 【女3 (0.8%) 男0 (0%)】

いない 123 (20.5%) 【女71 (19.8%) 男52 (21.7%)】

無回答 43 (7.2%) 【女26 (7.2%) 男17 (7.1%)】

(6) 世帯構成（総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人）

単身世帯 50 (8.3%) 【女31 (8.6%) 男19 (7.9%)】

1世代の世帯(夫婦のみ) 106 (17.6%) 【女53 (14.8%) 男53 (22.1%)】

2世代の世帯(親と子) 266 (44.3%) 【女155 (43.2%) 男109 (45.4%)】

3世代の世帯(親と子と孫) 39 (23.1%) 【女86 (24.0%) 男86 (22.1%)】

その他の世帯(1～4以外の世帯) 32 (5.3%) 【女26 (7.2%) 男6 (2.5%)】

無回答 8 (1.3%) 【女8 (2.2%) 男0 (0%)】

(7) 要介護者の有無（総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人）

いる 62 (10.3%) 【女35 (9.7%) 男27 (11.3%)】

いない 535 (89.0%) 【女321 (89.4%) 男212 (88.3%)】

無回答 4 (0.7%) 【女4 (0.8%) 男1 (0.4%)】

4 家庭生活について

問1 あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中から1つに をしてください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | | | |
|-------------|-----|---------|--------------------------|
| 1 同感する | 61 | (10.1%) | 【女25(7.0%)男34(14.2%)】 |
| 2 同感しない | 287 | (47.8%) | 【女178(49.6%)男109(45.4%)】 |
| 3 どちらともいえない | 239 | (39.8%) | 【女149(41.5%)男90(37.5%)】 |
| 4 わからない | 7 | (1.2%) | 【女5(1.4%)男2(0.8%)】 |
| 5 無回答 | 7 | (1.2%) | 【女2(0.6%)男5(2.1%)】 |

問2 家庭生活における家事や育児の役割分担について、あなたはどのように考えますか。共働きの場合と共働き以外の場合、それぞれについて1つに をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

共働きの場合

- | | | | |
|-----------------------------|-----|---------|--------------------------|
| 1 女性が家事や育児をしたほうがよい | 9 | (1.5%) | 【女4(1.1%)男5(2.1%)】 |
| 2 男女とも同じようにするほうがよい | 344 | (57.2%) | 【女228(63.5%)男114(47.5%)】 |
| 3 主に女性が家事や育児を行い、男性は手伝う程度でよい | 144 | (24.0%) | 【女71(19.8%)男73(30.4%)】 |
| 4 男性は家事や育児をしなくてもよい | 1 | (0.2%) | 【女0(0%)男1(0.4%)】 |
| 5 わからない | 9 | (1.5%) | 【女5(1.4%)男4(1.7%)】 |
| 6 その他 | 3 | (0.5%) | 【女2(0.6%)男1(0.4%)】 |
| 7 無回答 | 91 | (15.1%) | 【女49(13.6%)男42(17.5%)】 |

共働き以外の場合

- | | | | |
|-----------------------------|-----|---------|--------------------------|
| 1 女性が家事や育児をしたほうがよい | 75 | (12.5%) | 【女37(10.3%)男38(15.8%)】 |
| 2 男女とも同じようにするほうがよい | 84 | (14.0%) | 【女53(14.8%)男30(12.5%)】 |
| 3 主に女性が家事や育児を行い、男性は手伝う程度でよい | 295 | (49.1%) | 【女191(53.2%)男104(43.3%)】 |
| 4 男性は家事や育児をしなくてもよい | 3 | (0.5%) | 【女1(0.3%)男2(0.8%)】 |
| 5 わからない | 15 | (2.5%) | 【女9(2.5%)男6(2.5%)】 |

6 その他

16 (2.7%)【女14(3.9%) 男2(0.8%)】

7 無回答

113 (18.8 %)【女54(15.0%) 男58(24.2%)】

問3 あなたの家庭では、次にあげる家事等を、主に誰が分担していますか。(1)～(7)までのそれぞれについて1つに をしてください。

(1) 食事のしたく (総数 = 511人、女性 = 294人、男性 = 215人)

1 主に妻	415	(81.2%)	【女240(81.6%) 男173(80.5%)】
2 主に夫	2	(0.4%)	【女1(0.3%) 男1 (0.5%)】
3 夫婦で分担	26	(5.1%)	【女13(4.4%) 男13 (6.0%)】
4 その他の人	50	(9.8%)	【女30(10.2%) 男20(9.3%)】
5 無回答	18	(3.5%)	【女10(3.4%) 男8 (3.7%)】

(2) 食事の後片づけ (総数 = 511人、女性 = 294人、男性 = 215人)

1 主に妻	382	(74.8%)	【女231(78.6%) 男149(63.5%)】
2 主に夫	9	(1.8%)	【女5(1.7%) 男4 (1.9%)】
3 夫婦で分担	48	(9.4%)	【女16(5.4%) 男32(14.9%)】
4 その他の人	54	(10.6%)	【女33(11.2%) 男21(9.8%)】
5 無回答	18	(3.5%)	【女9(3.1%) 男8 (3.7%)】

(3) 掃除 (総数 = 511人、女性 = 294人、男性 = 215人)

1 主に妻	356	(69.7%)	【女221(75.2%) 男134(62.3%)】
2 主に夫	9	(1.8%)	【女1(0.3%) 男8 (3.7%)】
3 夫婦で分担	78	(15.3%)	【女35(11.9%) 男42(19.5%)】
4 その他の人	49	(9.6%)	【女28(9.5%) 男21(9.8%)】
5 無回答	19	(3.7%)	【女9(3.1%) 男10(4.7%)】

(4) 洗濯 (総数 = 511人、女性 = 294人、男性 = 215人)

1 主に妻	396	(77.5%)	【女239(81.3%) 男155(72.1%)】
2 主に夫	6	(1.2%)	【女2(0.7%) 男4 (1.9%)】
3 夫婦で分担	40	(7.8%)	【女15(5.1%) 男25(11.6%)】
4 その他の人	48	(9.4%)	【女28(9.5%) 男20(9.3%)】
5 無回答	21	(4.1%)	【女10(3.4%) 男11(5.1%)】

(5) 日常の買い物 (総数 = 511人、女性 = 294人、男性 = 215人)

1 主に妻	322	(63.0%)	【女201(68.4%) 男119(55.3%)】
2 主に夫	5	(1.0%)	【女5(1.7%) 男 0 (0%)】
3 夫婦で分担	118	(23.1%)	【女53(18.0%) 男65(30.2%)】

4	その他の人	47	(9.2%)	【女26(8.8%)	男21(9.8%)】
5	無回答	19	(3.7%)	【女9(3.1%)	男10(4.7%)】
(6)	育児	(総数 = 279人、女性 = 172人、男性 = 105人)			
1	主に妻	161	(57.7%)	【女102(59.3%)	男58(55.2%)】
2	主に夫	2	(0.7%)	【女0(0%)	男2(1.9%)】
3	夫婦で分担	95	(34.1%)	【女56(32.6%)	男38(36.2%)】
4	その他の人	21	(7.5%)	【女14(8.1%)	男7(6.7%)】
(7)	年寄りの世話	(総数 = 62人、女性 = 35人、男性 = 27人)			
1	主に妻	21	(33.9%)	【女13(37.1%)	男8(29.6%)】
2	主に夫	1	(1.6%)	【女0(0.0%)	男1(3.7%)】
3	夫婦で分担	14	(22.6%)	【女7(20.0%)	男7(25.9%)】
4	その他の人	12	(19.4%)	【女9(25.7%)	男3(11.1%)】
5	無回答	14	(22.6%)	【女6(17.1%)	男8(29.6%)】

問4 あなたの家族が介護を必要となった場合、家庭内の分担について、あなたはどのように考えますか。1つに をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1	主として女性が介護すべき	54	(9.0%)	【女22(6.1%)	男32(13.3%)】
2	男女が共同して介護すべき	534	(88.9%)	【女33(92.8%)	男199(82.9%)】
3	主として男性が介護すべき	3	(0.5%)	【女1(0.3%)	男2(0.8%)】
4	無回答	10	(1.7%)	【女3(0.8%)	男7(2.9%)】

問5 近年、出生数の減少が問題になっていますが、その理由は何だと思えますか。該当するもの全部に をしてください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1	結婚しない人が増えているから	359(59.7%)【女226(63.0%)				男133(55.4%)】
2	育児に不安があるから	227(37.8%)【女151(42.1%)				男74(30.8%)】
3	子どもの教育にお金がかかるから	347(57.7%)【女213(59.3%)				男132(55.0%)】
4	仕事をしながらの育児が大変だと考えるから	373(62.1%)【女233(64.9%)				男138(57.5%)】
5	子どもをほしくないという人が増えているから	88(14.6%)【女58(16.2%)				男30(12.5%)】
6	経済的に余裕がないから					

	340 (56.6%)【女199 (55.4%) 男140 (58.3%)】
7 結婚年齢があがっているから	203 (33.8%)【女130 (36.2%) 男73(30.4%)】
8 結婚しないで子どもを持つことに抵抗があるから	25 (4.2%)【女 19 (5.3%) 男 6 (2.5%)】
9 自分たちの趣味やレジャーを優先	154 (25.6%)【女 95 (26.5%) 男59(24.6%)】
10 その他	51 (8.5%)【女28 (7.8%) 男23 (9.6%)】
11 無回答	5 (0.8%)【女 2 (0.6%) 男 3 (1.3%)】

問6 あなたにとって理想的な子どもの数は何人ですか。1つに をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1 1人	7 (1.2%)【女4 (1.1%) 男 3 (1.3%)】
2 2人	236 (39.3%)【女140 (39.0%) 男 95 (39.6%)】
3 3人	312 (51.9%)【女187 (52.1%) 男124 (51.7%)】
4 4人以上	34 (5.7%)【女21 (5.8%) 男 12 (5.4%)】
5 0人	3 (0.5%)【女2 (0.6%) 男 1 (0.4%)】
6 無回答	9 (1.5%)【女5 (1.4%) 男 4 (1.7%)】

問7 子育てをする親を支えるために、どのような施設や制度の充実が必要と考えますか。2つまで選んで をしてください。(総数 = 601人 女性 = 359人、男性 = 240人)

1 気軽に利用できる育児相談	55 (9.2%)【女38 (10.6%) 男16 (6.7%)】
2 必要なときに預かってくれる保育施設	258 (42.9%)【女166 (46.2%) 男90 (37.5%)】
3 下校時に児童を預かってくれる学童保育所	90 (15.0%)【女57 (15.9%) 男33 (13.8%)】
4 育児の経済的負担を軽減する手当	219 (36.4%)【女122 (34.0%) 男97 (40.4%)】
5 育児休業制度等による仕事と子育てが両立できるシステムの確立	210 (34.8%)【女124 (34.5%) 男85 (35.4%)】
6 男女ともに労働時間の短縮	50 (8.3%) 【女34 (9.5%) 男16 (6.7%)】
7 教育費の軽減	129 (21.5%)【女69 (19.2%) 男60 (25.0%)】
8 その他	10 (1.7%) 【女7 (1.9%) 男 3 (1.3%)】
9 特に必要ない	6 (1.0%) 【女5 (1.4%) 男 1 (0.4%)】

10 無回答

75(12.5%) 【女40(11.1%)男 35(14.6%)】

5 職業について

問8 女性が職業をもつことについてどう思いますか。1つに をしてください。

(総数 = 601人 女性 = 359人 男性 = 240人)

- 1 結婚や出産後も仕事を続ける方がよい
233 (38.8%) 【女140 (39.0%) 男92 (38.3%)】
- 2 結婚を契機に退職し、家庭に入る方がよい
18 (3.0%) 【女10 (2.8%) 男8 (3.3%)】
- 3 出産を契機に退職し、家庭に入る方がよい
38 (6.3%) 【女27 (7.5%) 男11 (4.6%)】
- 4 結婚や出産を契機に退職しても、育児などが終わったら再就職した方がよい
278 (46.3%) 【女159 (44.3%) 男118 (49.2%)】
- 5 女性は職業をもたない方がよい
25 (4.2%) 【女17 (4.7%) 男8 (3.3%)】
- 6 無回答
9 (1.5%) 【女6 (1.7%) 男3 (1.3%)】

問9 現在、働いている女性の方にお伺いします。働く主な理由を2つまで選んで をしてください。(女性 = 204人)

- 1 自分の能力、技術、資格を生かしたいから 35 (17.2%)
- 2 時間的に余裕があるから 13 (6.4%)
- 3 仕事をするのが好きだから 18 (8.8%)
- 4 自分で自由に使えるお金を得るため 42 (20.6%)
- 5 生計を維持するため 109 (53.4%)
- 6 ローンなどの借金返済のため 30 (14.7%)
- 7 将来に備えて貯蓄するため 28 (13.7%)
- 8 家業だから 12 (5.9%)
- 9 働くのが当然だから 22 (10.8%)
- 10 一度退職すると、今と同程度の条件での再就職が難しいから 18 (8.8%)
- 11 教育資金を得るため 15 (7.4%)
- 12 生きがいを得るため 27 (13.2%)
- 13 その他 4 (2.0%)
- 14 無回答 10 (4.9%)

問10 過去に就業経験があり、現在、退職している女性の方にお尋ねします。仕事をやめられた理由は何ですか。最も近い理由1つに をしてください。(女性 = 132人)

- 1 結婚のため 24 (女性 18.2%)

2	出産のため	22	(女性 16.7%)
3	家事や育児へ専念するため	24	(女性 18.2%)
4	お年寄りや病人の世話をするため	14	(女性 10.6%)
5	経済的に働く必要がなくなったため	2	(女性 1.5%)
6	職場に不満があったため	9	(女性 6.8%)
7	職場に結婚、出産退職の慣行があった	3	(女性 2.3%)
8	家族の反対や無理解	3	(女性 2.3%)
9	その他	31	(女性 23.5%)

問11今の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。1つに をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1	大変働きやすい状況にあると思う	6	(1.0%) 【女5(1.4%) 男1(0.4%)】
2	ある程度働きやすい状況にあると思う	182	(30.3%) 【女102(28.4%) 男79(32.9%)】
3	あまり働きやすい状況とは思わない	161	(26.8%) 【女103(28.7%) 男58(24.2%)】
4	働きやすい状況にあるとは思わない	132	(22.0%) 【女87(24.2%) 男44(18.3%)】
5	どちらともいえない	50	(8.3%) 【女38(10.6%) 男12(5.0%)】
6	わからない	21	(3.5%) 【女13(3.6%) 男8(3.3%)】
7	無回答	49	(8.2%) 【女11(3.1%) 男38(15.8%)】

問12女性が働きやすくするために必要なこと、2つまで選んで をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	117	(19.5%) 【女78(21.7%) 男39(16.3%)】
2	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	233	(38.8%) 【女146(40.7%) 男87(36.3%)】
3	育児や介護のための休暇制度を充実する	151	(25.1%) 【女94(26.2%) 男57(23.8%)】
4	育児休暇や介護休暇中の諸手当を充実する	84	(14.0%) 【女55(15.3%) 男28(11.7%)】
5	結婚、出産、介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する		

	236 (39.3%)	【女139 (38.7%) 男96 (40.0%)】
6 賃金、仕事の内容など、労働条件面で男女差をなくす	69 (11.5%)	【女45 (12.5%) 男24 (10.0%)】
7 昇進、昇格の機会、男女差をなくす	38 (6.3%)	【女27 (5.8%) 男11 (4.6%)】
8 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける	30 (5.0%)	【女21 (5.8%) 男9 (3.8%)】
9 フレックスタイム制や在宅勤務制度の導	98 (16.3%)	【女63 (17.5%) 男34 (14.2%)】
10 その他	9 (1.5%)	【女6 (1.7%) 男3 (1.3%)】
11 無回答	52 (8.7%)	【女13 (3.6%) 男39 (16.3%)】

6 社会参加について

問13あなたは現在、仕事以外に何か活動をしていますか。該当するもの全部に をして
ください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | | |
|----|--------------------------|--|
| 1 | スポーツ、趣味、教養などのサークル・グループ活動 | 157 (26.1%)【女83 (23.1%) 男74 (30.8%)】 |
| 2 | ボランティア活動 | 43 (7.2%)【女30 (8.4%) 男13 (5.4%)】 |
| 3 | P T A活動 | 45 (7.5%)【女32 (8.9%) 男13 (5.4%)】 |
| 4 | 青少年グループの世話など青少年の健全育成活動 | 10 (1.7%)【女2 (0.6%) 男8 (3.3%)】 |
| 5 | 町内会、自治会などの地域活動 | 146 (24.3%)【女72 (20.1%) 男74 (30.8%)】 |
| 6 | 自然保護、環境美化など地域環境を守る活動 | 6 (1.0%)【女2 (0.6%) 男4 (1.7%)】 |
| 7 | 青年団体、女性団体、老人クラブなどの各種団体活動 | 26 (4.3%)【女15 (4.2%) 男11 (4.6%)】 |
| 8 | 国際交流活動 | 2 (0.3%)【女1 (0.3%) 男1 (0.4%)】 |
| 9 | 政党、宗教などに関する活動 | 11 (1.8%)【女6 (1.7%) 男5 (2.1%)】 |
| 10 | 何にも参加していない | 295 (49.1%)【女185 (51.5%) 男109 (45.4%)】 |
| 11 | その他 | 8 (1.3%)【女4 (1.1%) 男4 (1.7%)】 |
| 12 | 無回答 | 13 (2.2%)【女8 (2.2%) 男5 (2.1%)】 |

問14あなたが活動に参加しているのは、どのような理由ですか。次の中から主なもの
2つまで選んで をしてください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | | |
|---|------------------|-------------------------------------|
| 1 | 役目が順番制だから | 97 (31.7%)【女56 (32.3%) 男41 (31.3%)】 |
| 2 | 自分の知識や能力を生かしたいから | 48 (15.7%)【女21 (12.1%) 男26 (19.8%)】 |
| 3 | 人や世の中、地域の役に立つから | 96 (31.4%)【女43 (24.7%) 男53 (40.5%)】 |
| 4 | 自分を成長させたいから | 94 (30.7%)【女63 (36.2%) 男30 (22.9%)】 |
| 5 | 教養を身につけたいから | 13 (4.2%)【女10 (5.7%) 男3 (2.3%)】 |
| 6 | 実生活に役立つから | 28 (9.2%)【女17 (9.8%) 男11 (8.4%)】 |
| 7 | 時間があるから | 42 (13.7%)【女22 (12.6%) 男20 (15.3%)】 |
| 8 | その他 | 27 (8.8%)【女14 (8.0%) 男13 (9.9%)】 |
| 9 | 無回答 | 22 (7.2%)【女14 (8.0%) 男8 (6.1%)】 |

問15 問13で10「何にも参加してない」と答えた方の参加しない理由をお伺いします。

1つに をしてください。

(総数 = 295人、女性 = 185人、男性 = 109人)

- 1 そのような活動に関心がないから
60 (20.3%) 【女31 (16.8%) 男29 (26.6%)】
- 2 仕事が忙しいから
71 (24.1%) 【女34 (18.4%) 男37 (33.9%)】
- 3 費用がかかるから
15 (5.1%) 【女8 (4.3%) 男7 (6.4%)】
- 4 適当な講座やサークルがない
36 (12.2%) 【女23 (12.4%) 男12 (11.0%)】
- 5 家事、育児、介護で忙しいから
56 (19.0%) 【女52 (28.1%) 男4 (3.7%)】
- 6 家族の協力を得られないから
6 (2.0%) 【女5 (2.7%) 男1 (0.9%)】
- 7 活動の場や施設がないから
15 (5.1%) 【女11 (5.9%) 男4 (3.7%)】
- 8 その他
29 (9.8%) 【女18 (9.7%) 男11 (10.1%)】
- 9 無回答
7 (2.4%) 【女3 (1.6%) 男4 (3.7%)】

問16女性が社会活動にもっと参加できるようにするためには、どのようなことが必要と
思いますか。2つまで選んで をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- 1 夫や家族の理解と協力
375 (62.4%) 【女224 (62.4%) 男151 (62.9%)】
- 2 隣近所の理解
26 (4.3%) 【女15 (4.2%) 男11 (4.6%)】
- 3 託児所やホームヘルパー制度を整えること
129 (21.5%) 【女73 (20.3%) 男56 (23.3%)】
- 4 社会活動の施設や設備を整えること
101 (16.8%) 【女55 (15.3%) 男46 (19.2%)】
- 5 行政が指導や広報等の援助を行うこと
47 (7.8%) 【女26 (7.2%) 男21 (8.8%)】
- 6 女性自身が社会活動にもっと関心と意欲をもつこと
175 (29.1%) 【女115 (32.0%) 男58 (24.2%)】
- 7 自分の自由になる時間を増やすこと

	164 (27.3%)【女105 (29.2%) 男59 (24.6%)】
8 その他	8 (1.3%) 【女6 (1.7%) 男2 (0.8%)】
9 わからない	28 (4.7%)【女16 (4.5%) 男12 (5.0%)】
10 無回答	19 (3.2%)【女9 (2.5%) 男10 (4.2%)】

問17男性も家庭生活や地域社会活動に参画すべきと言われていますが、そのためにはどのようなことが必要と思いますか。該当するもの全部に をつけてください。
(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

1 参画を進めるための啓発活動をする	120 (10.8%)【女65 (18.1%) 男55 (22.9%)】
2 参画しやすくなるような学習機会を増やす	115 (19.1%)【女70 (19.5%) 男44 (18.3%)】
3 参画に関する身近な情報を増やす	215 (35.8%)【女122 (34.0%) 男92 (38.3%)】
4 家庭で親などが参画の必要性を教える	95 (15.8%)【女55 (15.3%) 男40 (16.7%)】
5 学校で参画の必要性を教える	77 (12.8%)【女47 (13.1%) 男30 (12.5%)】
6 労働時間を短くして参画する時間を増やす	150 (25.0%)【女79 (22.0%) 男71 (29.6%)】
7 男性も女性も対象に、仕事と家庭の両立を支援する体制の整備を図る	274 (45.6%)【女166 (46.2%) 男108 (45.0%)】
8 その他	15 (2.5%)【女11 (3.1%) 男4 (1.7%)】
9 わからない	55 (9.2%)【女39 (10.9%) 男16 (6.7%)】
10 無回答	27 (4.5%)【女18 (3.0%) 男9 (3.8%)】

7 女性の人権について

問18現在、女性の人権が尊重されていると思いますか。1つだけ をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| 1 思う | 335 (55.7%)【女168(46.8%) 男165(68.8%)】 |
| 2 思わない | 242 (40.3%)【女176(49.0%) 男66(27.5%)】 |
| 3 無回答 | 24 (4.0%)【女15(4.2%) 男9 (3.8%)】 |

問19「思わない」と答えた方にお伺いします。女性の人権が尊重されていないと思うもの、該当するもの全部に をしてください。

(総数 = 242人 女性 = 176人 男性 = 66人)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1 売春・買春 | 101(41.7%)【女73(41.5%) 男28(42.4%)】 |
| 2 女性の働く風俗営業 | 87(36.0%)【女63(35.8%) 男24(36.4%)】 |
| 3 家庭内での夫から妻への暴力 | 90(37.2%)【女64(36.4%) 男26(39.4%)】 |
| 4 職場におけるセクシャルハラスメント(性的いやがらせ) | 118(48.8%)【女90(51.1%) 男28(42.4%)】 |
| 5 女性のヌード写真などを掲載した雑誌・マスメディア | 71(31.8%)【女54(30.7%) 男17(25.8%)】 |
| 6 女性の容貌を競うミス・コンテスト | 35(14.5%)【女28(14.5%) 男7(10.6%)】 |
| 7 「令夫人」「婦人」「未亡人」のように女性だけに用いられる言葉 | 48(19.8%)【女37(21.0%) 男11(16.7%)】 |
| 8 女性に対するストーカー(つきまとい行為) | 77(31.8%)【女57(32.4%) 男20(30.3%)】 |
| 9 痴漢行為 | 115(47.5%)【女85(48.3%) 男30(45.5%)】 |
| 10 その他 | 26(10.7%)【女19(10.8%) 男7(10.6%)】 |
| 11 無回答 | 7(2.9%)【女6(3.4%) 男1(1.5%)】 |

問20女性への性犯罪、セクシャル・ハラスメントや暴力などをなくすには、どんなことが必要でしょうか。該当するもの全部に をつけてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1 法律や制度を改正したり、犯罪の取締りを強化する | 328(54.6%)【女205(57.1%) 男123(51.3%)】 |
| 2 捜査や裁判の担当者に女性を増やすなど、被害女性が届けやすい | 310(51.6%)【女195(54.3%) 男114(47.5%)】 |
| 3 被害女性のための相談機関や保護施設を整備する | |

	297 (49.4%)【女196 (54.6%) 男101 (42.1%)】
4 学校や家庭で男女平等や人権についての教育を充実させる	189 (31.4%)【女113 (31.5%) 男76 (31.7%)】
5 テレビや出版社などのメディア業界に対して、女性の人権を無視するような性的・暴力的表現を取り扱わないよう自主的な取り組みを働きかけること	248 (41.3%)【女150 (41.8%) 男97 (40.4%)】
6 過激な内容の雑誌、ビデオ、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	282 (46.9%)【女185 (51.5%) 男96 (40.0%)】
7 その他	19 (3.2%)【女10 (2.8%) 男9 (3.8%)】
8 無回答	22 (3.7%)【女12 (3.3%) 男10 (4.2%)】

問21夫婦間等の暴力（言葉の暴力、精神的、経済的暴力を含む）が問題になっていますが、身近で見聞きしたことがありますか。1つに をしてください。

（総数 = 601人 女性 = 359人 男性 = 240人）

1 夫婦間暴力について、身近な人から相談をうけたことがある	20 (3.3%) 【女12 (3.3%) 男8 (3.3%)】
2 身近に夫婦間暴力を受けた当事者がいる	76 (12.6%) 【女56 (15.6%) 男20 (8.3%)】
3 夫婦間暴力について噂を聞いたことがある	97 (16.1%) 【女60 (16.7%) 男37 (15.4%)】
4 見聞きしたことはない	366 (60.9%)【女204 (56.8%) 男160 (66.7%)】
5 無回答	42 (7.0%) 【女27 (7.5%) 男15 (6.3%)】

8 男女平等について

問22あなたは次のような分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。

(1) ~ (7) までのそれぞれについて1つに をしてください。

(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

(1) 家庭生活中で

- | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------------|
| 1 男性が優遇 | 119 (19.8%) | 【女82 (22.8%) 男37 (15.4%)】 |
| 2 どちらかといえば男性が優遇 | 259 (43.1%) | 【女153 (42.6%) 男104 (43.3%)】 |
| 3 平等 | 131 (21.8%) | 【女62 (17.3%) 男69 (28.8%)】 |
| 4 どちらかといえば女性が優遇 | 29 (4.8%) | 【女22 (6.1%) 男7 (2.9%)】 |
| 5 女性が優遇されている | 9 (1.5%) | 【女7 (1.9%) 男2 (0.8%)】 |
| 6 わからない | 30 (5.0%) | 【女19 (5.3%) 男11 (4.6%)】 |
| 7 無回答 | 24 (4.0%) | 【女14 (3.9%) 男10 (4.2%)】 |

(2) 職場のなかで

- | | | |
|-----------------|-------------|----------------------------|
| 1 男性が優遇 | 168 (28.0%) | 【女109 (30.4%) 男59 (24.6%)】 |
| 2 どちらかといえば男性が優遇 | 229 (38.1%) | 【女140 (39.0%) 男88 (36.7%)】 |
| 3 平等 | 95 (15.8%) | 【女42 (11.7%) 男53 (22.1%)】 |
| 4 どちらかといえば女性が優遇 | 30 (5.0%) | 【女10 (2.8%) 男20 (8.3%)】 |
| 5 女性が優遇されている | 7 (1.2%) | 【女2 (0.6%) 男5 (2.1%)】 |
| 6 わからない | 42 (7.0%) | 【女35 (9.7%) 男7 (2.9%)】 |
| 7 無回答 | 30 (5.0%) | 【女21 (5.8%) 男8 (3.3%)】 |

(3) 学校教育のなかで

1 男性が優遇	32 (5.3%)	【女20 (5.6%) 男12 (5.0%)】
2 どちらかといえば男性が優遇	75 (12.5%)	【女46 (12.8%) 男28 (11.7%)】
3 平等	319 (53.1%)	【女177 (49.3%) 男141 (58.8%)】
4 どちらかといえば女性が優遇	28 (4.7%)	【女13 (3.6%) 男15 (6.3%)】
5 女性が優遇されている	2 (0.3%)	【女1 (0.3%) 男1 (0.4%)】
6 わからない	106 (17.6%)	【女78 (21.7%) 男28 (11.7%)】
7 無回答	39 (6.5%)	【女24 (6.7%) 男15 (6.3%)】

(4) 地域社会のなかで

1 男性が優遇	91 (15.1%)	【女69 (19.2%) 男22 (9.2%)】
2 どちらかといえば男性が優遇	232 (38.6%)	【女138 (38.4%) 男92 (38.3%)】
3 平等	150 (25.0%)	【女70 (19.5%) 男80 (33.3%)】
4 どちらかといえば女性が優遇	20 (3.3%)	【女7 (1.9%) 男13 (5.4%)】
5 女性が優遇されている	5 (0.8%)	【女3 (0.8%) 男2 (0.8%)】
6 わからない	71 (11.8%)	【女53 (14.8%) 男18 (7.5%)】
7 無回答	32 (5.3%)	【女19 (5.3%) 男13 (5.4%)】

(5) 法律や制度のうえで

1 男性が優遇	71 (11.8%)	【女54 (15.0%) 男17 (7.1%)】
2 どちらかといえば男性が優遇	195 (32.4%)	【女124 (34.5%) 男71 (29.6%)】
3 平等		

	187 (31.1%)	【女83 (23.1%) 男103 (42.9%)】
4 どちらかといえば女性が優遇	35 (5.8%)	【女16 (4.5%) 男19 (7.9%)】
5 女性が優遇されている	10 (1.7%)	【女3 (0.8%) 男7 (2.9%)】
6 わからない	74 (12.3%)	【女60 (16.7%) 男13 (5.4%)】
7 無回答	29 (4.8%)	【女19 (5.3%) 男10 (4.2%)】

(6) 政治や政策決定の場で

1 男性が優遇	158 (26.3%)	【女106 (29.5%) 男52 (21.7%)】
2 どちらかといえば男性が優遇	206 (34.3%)	【女129 (35.9%) 男75 (31.3%)】
3 平等	127 (21.1%)	【女46 (12.8%) 男81 (33.8%)】
4 どちらかといえば女性が優遇	7 (1.2%)	【女2 (0.6%) 男5 (2.1%)】
5 女性が優遇されている	3 (0.5%)	【女1 (0.3%) 男2 (0.8%)】
6 わからない	67 (11.1%)	【女52 (14.5%) 男15 (6.3%)】
7 無回答	33 (5.5%)	【女23 (6.4%) 男10 (4.2%)】

(7) 社会通念、慣習、しきたりなどで

1 男性が優遇	210 (34.9%)	【女130 (36.2%) 男80 (33.3%)】
2 どちらかといえば男性が優遇	246 (40.9%)	【女141 (39.3%) 男103 (42.9%)】
3 平等	49 (8.2%)	【女19 (5.3%) 男30 (12.5%)】
4 どちらかといえば女性が優遇	7 (1.2%)	【女5 (1.4%) 男2 (0.8%)】
5 女性が優遇されている	4 (0.7%)	【女2 (0.6%) 男2 (0.8%)】

6 わからない

52 (8.7%) 【女38 (10.6%) 男14 (5.8%)】

7 無回答

33 (5.5%) 【女24 (6.7%) 男9 (3.8%)】

問23 あなたは「男らしさ」「女らしさ」ということについてどう思いますか。1つに
をしてください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | | |
|-------------|---------------|---------------------------------|
| 1 必要である | 424 (70.5%) | 【女246 (68.5%) 男176 (73.3%)】 |
| 2 必要でない | 26 (4.3%) | 【女19 (5.3%) 男7 (2.9%)】 |
| 3 どちらともいえない | 110 (18.3%) | 【女71 (19.8%) 男39 (16.3%)】 |
| 4 わからない | 13 (2.2%) | 【女9 (2.5%) 男4 (1.7%)】 |
| 5 無回答 | 28 (4.7%) | 【女14 (3.9%) 男14 (5.8%)】 |

問24 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要と思われるもの
2つまで選んで をしてください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- | | | |
|-------------------|---------------|--------------------------------|
| 1 女性の意識の向上 | 111 (18.5%) | 【女64 (17.8%) 男46 (19.2%)】 |
| 2 男性の意識の向上 | 165 (27.5%) | 【女90 (25.1%) 男75 (31.3%)】 |
| 3 女性の経済力の向上 | 89 (14.8%) | 【女62 (17.3%) 男27 (11.3%)】 |
| 4 女性の知識や技術の向上 | 74 (12.3%) | 【女42 (11.7%) 男31 (12.9%)】 |
| 5 子どものときからの男女平等教育 | 123 (20.5%) | 【女71 (19.8%) 男52 (21.7%)】 |
| 6 女性の政治・社会参加 | 38 (6.3%) | 【女25 (7.0%) 男13 (5.4%)】 |
| 7 女性の労働の正しい評価 | 146 (24.3%) | 【女96 (26.7%) 男49 (20.4%)】 |
| 8 社会的なしきたりや慣習の改善 | 218 (36.3%) | 【女124 (34.5%) 男93 (38.8%)】 |
| 9 法律や制度等の改善 | 74 (12.3%) | 【女42 (11.7%) 男32 (13.3%)】 |
| 10 その他 | 5 (0.8%) | 【女5 (1.4%) 男0 (0.0%)】 |
| 11 わからない | 36 (6.0%) | 【女23 (6.4%) 男13 (5.4%)】 |
| 12 無回答 | 23 (3.8%) | 【女13 (3.6%) 男10 (4.2%)】 |

9 男女共同参画社会について

問25男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に、共同に参画する社会を実現するためには、どんなことが必要と思いますか。2つまで選んで をしてください。(総数 = 601人、女性 = 359人、男性 = 240人)

- 1 男性の家事、育児への参画推進
163(27.1%)【女107(29.8%) 男55(22.9%)】
- 2 男女平等を目指した制度の制定や見直し
127(21.1%)【女65(18.1%) 男62(25.8%)】
- 3 政策決定の場への女性の積極的な登用
58(9.7%)【女33(9.2%) 男25(10.4%)】
- 4 各種団体の女性リーダーの育成
39(6.5%)【女21(5.8%) 男18(7.5%)】
- 5 職場における男女の平等な取り扱いの周知徹底
114(19.0%)【女66(18.4%) 男48(20.0%)】
- 6 女性の就労機会の確保、女性の職業教育や職業訓練の充実
113(18.8%)【女71(19.8%) 男41(17.1%)】
- 7 保育所や学童保育所等の充実
157(26.1%)【女92(25.6%) 男65(27.1%)】
- 8 高齢者や病人の施設や介護サービスの充実
144(24.0%)【女95(26.5%) 男49(20.4%)】
- 9 学校教育や社会教育・生涯学習の場での男女平等や相互理解についての学習の充実
103(17.1%)【女57(15.9%) 男46(19.2%)】
- 10 女性の生き方に関する情報交換や交流の場となる拠点施設の整備
31(5.2%)【女18(5.0%) 男12(5.0%)】
- 11 各国の女性との交流や情報提供などの国際交流の推進
8(1.3%)【女5(1.4%) 男3(1.3%)】
- 12 広報紙やパンフレットなどによる男女平等や相互理解についてのPR
14(2.3%)【女8(2.2%) 男6(2.5%)】
- 13 その他
8(1.3%)【女4(1.1%) 男4(1.7%)】
- 14 無回答
31(5.2%)【女20(5.6%) 男11(4.6%)】

自由記述

自由意見から抜粋 長文は一部要約しています。

社会参画と家庭

- 1、女性は家にいるべきだと思う。女性も男性のように働けば犠牲になるのは子供だ。家庭を守る女性に対しての手当てなどを充実すべきだ。男女ともに働けば子供はどこで愛情を得るのか？ 女性が家庭を守り子供を守る。男女平等というから、今の子供の犯罪が増えているのでは？ 男性を立ててという昔からの風習が日本人らしくて素晴らしいと思う。(30代女性)
- 2、職場、地域社会、政治の場においては、男女共同参画は進んできているとは思いますが。社会的なしきたりや慣習により、家庭内ではまだまだ大きな差があると思われる。今の大人たちはそのギャップの中で頑張り、男女共同参画は当たり前なのだという環境を子供達につくってあげることが大切なのではないか？(長い時間はかかるとは思いますが)(30代女性)
- 3、育児のために家庭に入りましたが、税制度が今後変わり、家計への負担が増えると聞きました。専業主婦の仕事が評価されていないようで残念です。女性が働く事への環境づくりも確かに大切ですが、家族が安らげる家庭にするために家事に専念している主婦にも生活しやすい社会であって欲しいと願います。(30代女性)
- 4、近年、女性が元気で強くなってきている事は、色々な場面で感じられてきているが、社会的なしきたりや慣習をどのように改善していくか見えていないため、本物にはまだなっていない。新しい方法、慣習をどのように作っていくのか、多くの議論が必要であろう。(50代男性)
- 5、共同参画とは、どうゆう場面を指しているのか今ひとつ理解できません。結婚すれば子供が生まれ、一緒に子育てするのは当然のことで、男女の内どちらがどのと言うのは、夫婦の協定であり、第三者が立ち入る問題ではない。自分も含めて、考え方が成熟していないから暴力的になったりすると思う。お互いに思いやりがあればそれでよしいのではないかと・・・ (40代男性)

男女平等について

- 1、男女平等である必要性を感じません。男には男の、女には女の役割があると思うからです。男女平等の名において職場で負担が大きくなったのは、女性のほうが多いと感じます。(30代男性)
- 2、平等は大切であると思う。又同じように「男、女らしさ」や性別により出来る事、出来ない事があると思う。協力する事が大切なのでは？ 平等という言葉だけが走りすぎるのもどうかと思う。身の回りで男女間の不平等を感じることはない。(40代男性)
- 3、性差による差別は是正する方向へ 役割分担による負担には正しい評価が必要と思う。単純な平等主義は矛盾と混乱を招きます。相互が尊敬し合える存在であり、それぞれに変わりえない役割があるという教育も大切です。(50代男性)
- 4、男女平等になったら女性が大変 男女の性別役割分担は昔から決まっている。
(20代女性)
- 5、 男女が共同参画する社会は実現可能だと思いますが、平等に参画する社会はありえないと思います。男性と女性は絶対平等にはなれないと思うので。いい意味で違いを認め 男性らしさ、女性らしさが必要であるという事を考えた方がいいと思います。
(40代女性)
- 6、子供の頃から日本の習慣(男は仕事、女は家事)を見て育つので、男性は父と同じ事をするのが男という考えが育つ。その考えが変とわからせない限り男女平等はありえない。親が行動を通じ実践して見せていくべき (40代女性)
- 7、女性も男性に頼りすぎずに女性らしく自立できる力を持ちたいと思います。それが出来れば男女平等です。(50代女性)
- 8、家庭、職場、地域社会等で男性の力が必要とされている。平等でなくてもいいと思う。むしろ女性は感謝の意をこめてありがたいの気持ちを持つべきだと思う。平等を強く求めるあまり人間性を失っている女性もみかける。平等ばかり優先するのは如何なものか？ 女性に謙虚さが必要 (50代女性)

男女共同参画全般

- 1、女性が、家庭、職場、社会で「女性だから」という甘えがあるうちは何も変わらない。女性の出産という特性を尊重する以外は、男、女同じであってよいと思う。
(50代男性)
- 2、男女共同参画と呼ばれて久しいが、制度上はその方向に向かっていると思いますが、行動面ではまだまだである。特に経済成長した今時、自己中心的な人間が多く、地域でのボランティア活動に消極的な人が多い。(60代男性)
- 3、男女共同参画社会の意識向上はしていると思いますが、そのことを認められない年配の方々の意識も変えていくことも大事だと思います。学校教育などでの学習よりも、家庭内での対話がより大切と感じます。(身近な人の意見や態度が大きく影響すると思うので)(30代女性)
- 4、「男女共同参画」良い事だなと思う。お父さんは仕事を頑張り、どうしても家、子供、地域の事はお母さんにくる。共働きだと正直しんどい時がある。男性が家庭、地域社会に参画する事と同時に、女性は男女平等や出産育児に対してあらゆる分野での意識の向上が必要だと思います。(30代女性)
- 5、男女共同参画などを真面目に考えるのは少数派 自分の生活で手一杯
(30代女性)
- 6、女性らしさを失わないで、且つ職場では男性と同じと思い頑張って仕事をして欲しい。女だからといって甘えている面も十分見受けられる。60歳定年まで男に負けたくないと思いながらもやさしさを失わず、女性らしい意見を発言してきました。女性の意識改革が必要。夫、祖父母の協力があればこそ、と感謝して仕事をしました。(60代女性)

労働環境

- 1、妊娠したという事だけで会社をやめなければならない企業体制に問題あり、妊娠出産後の再雇用体制を整えて欲しいと思います。(20代男性)
- 2、女性は仕事をしたくとも育児介護等でままならない人が多い。それらを軽減しない限り男性と横一線で並ぶ事は難しいと思う。女性が仕事を持ち、経済的基盤が出来なければ少子化に歯止めを掛ける事も出来ないと思う。(40代男性)
- 3、保育必要な時になかなか休みが取れない 事業主の理解がない。
- 4、男女平等とはとても思えません。賃金、業種、就労時間・・・男の人が上だと思えます。女である事が不利な場合が多い。性別のみで勝手に判断する企業の多さ、いくら女性が意識を向上しても対応しない、出来ない企業が多すぎる。特に子供を持っていることで就職が難しくなる。男性は男性というだけで優遇されている。産休、育休など一般企業は対応していないのも同じです。子供がいると何故女性だけ思うように働けないのか不思議です。(20代女性)
- 5、求職中に「いずれ子供ができたらやめるんでしょ」といったような内容のことを、面接で言われたことがありました。また「子供がいるとね・・・」と言ったような発言を受けた友人もいます。そういうような事を改めてもらえるような事をして欲しいと思います。(30代女性)
- 6、結婚や出産した女性が、働きたいと思っても仕事がないのが現状だと思います。女性が手に職や、仕事をするのに必要な資格等を取得できるようにして欲しい。カルチャーなども北上で沢山で受けられるようにして欲しい。(30代女性)
- 7、近年コンピューター等の発達により、仕事の密度が濃い。毎日忙しく家族と過ごす時間が少ない。育児介護等を、ゆとりをもってするためにも、労働時間を短縮して6時間労働にする。仕事をする人も増えるし、子供が帰ってきた時にお帰りも言え理想的だと思う。(40代女性)
- 8、若者は低賃金の中自分が暮らしてだけで精一杯、社会全体の賃金格差を無くすことで、結婚から出産への道ができる。結婚し子供が誕生したとしても、職場社会環境が、育児休暇に理解を示し、職場復帰できる制度が法律で保障されないと、いくら育児手当が支給されても根本からの解決にはならない。(50代女性)
- 9、学校行事で母親が休めるような職場に。母親の代わりに孫の参観日に行っている。親の目で子供を見て育て子を持つ喜びを味わってみたい。それが最初の男女共同参画ではないでしょうか？(60代女性)

家事・育児・介護

- 1、子供を立派に育てるという事は大変な仕事と思います。決して片手までできることではなく誰もがそれを評価し、認識する必要性を感じます。歴史的に見ても、父親より母親の影響力が大きいという事です。(10代男性)
- 2、母子手当でばかり支給されているが、実際には普通の家庭のほうが手当てを必要としている。女性ばかりが苦勞していると世間は思っているが、母子家庭のほうが経済的には楽なのではないか？ 保育料の優遇や手当てなど普通の家庭にも取り入れれば、子供を増やすきっかけになるのではないか。女性ばかりもてはやす前にもっとやるべき事があると思う。今の制度では普通の家庭でいる事が馬鹿らしく思える。もっと普通の家庭にも手当てや金銭的負担を減らしていく事が少子化を止める事になると個人的には思う。(20代男性)
- 3、保育所 特に現在の就業形態から24時間制の保育所への拡大等、行政が進められることがあると思う。(40代男性)
- 4、子育てにもっと生きがいや魅力を持てるシステムと意識の向上が必要であると思う。平等・平等と社会進出での生きがいを求めるだけでなく、内なる子育てに目を向けないと、人間社会は滅亡に向かうと思う。性の違いは、特に子育てにはあり互いに協力して、その違い特徴を生かすようにすべきである。(60代男性)
- 5、保育園を増やして欲しい。働かなければ入れないという規定をはずして欲しい。年子の赤ん坊がいる、親も親戚も遠方です。一人で家事育児をしなければいけない。自分が働いていないので保育園に入れる事ができない。こんな状態で少子化が解決するはずないと思います。とても子供を育てやすい環境とはいえません。(30代女性)
- 6、男性が得意な分野、女性が得意な分野があってもよいと思います。若い方が家事育児は二人でやるようになってきてほほえましい限りですが、自宅での老人介護だけはまだまだ女性の負担が大きいです。(50代女性)
- 7、女性は家庭に介護の必要性が生じると、仕事の減少もしくは退職する事となるので介護制度の見直しを考えて欲しいし、そのための施設の増加をしてもらいたい。又若い主婦達は育児に対しての制度を強化し実行してもらいたい。年配、若い主婦にしても、今生活状況はともに厳しいものを現実に受けております。(50代女性)
- 8、子供達を地域(小部落100世帯程度)で育てていく方向性があれば。特に共働きへの応援、支援としての取組が農村地帯にも必要と思う。(60代女性)
- 9、男性が経済的に安定していれば女性は働かなくても子育てできるが、共稼ぎの場合どうしても女性に負担がかかり、特に育児と家事の両立は大変でした。職場に託児所や、育児休暇などが取れる職場があり再び働ければよいのですが(育児期間の安心確保)(60代女性)